未来に
残そう美しい
海

海はともだち ハンドブック

「海で楽しく泳ぐ・遊ぶ」と「海岸清掃」編

平成29年3月発行
編集・作成：われら海岸探偵団
〒808-0077 北九州市若松区用勺町16-28
NPO法人 まちのカルシウム工房 内 TEL.093-772-3223 FAX.093-791-3514
監　　修：若松海上保安部
作成協力：NPO法人 まちのカルシウム工房 / 地域総合連携研究室（地総研）
写真：脇田海岸から脇田海釣り桟橋を望む（若松区）イメージ

われら海岸探偵団

このハンドブックは、市民太陽光収益還元事業「みなとや海辺の親しみ創出事業」助成金（北九州市港湾空港局）で作成されています。

海はともだち

このハンドブックは、北九州市若松区響町の「市民太陽光発電所」の売電収入の一部を活用した「みなとや海辺の親しみ創出事業」助成金（北九州市港湾空港局）によって作成されたものです。
上記の「市民太陽光発電所」とは、北九州市が市政50周年記念事業として平成25年8月に市民のみなさま等から建設資金を募って設置した施設で、売電収入の一部を市民に還元している公設公営のメガソーラーです。

われら海岸探偵団

〒808-0077 北九州市若松区用勺町16-28
NPO法人 まちのカルシウム工房 内
TEL.093-772-3223 FAX.093-791-3514
http://www.kaitan.link/
honebuto2011@gmail.com

写真：響灘北緑地（若松区）

このハンドブックは、

海で安全・安心に過ごすための説明書です。

内容は、「私たち人間が、海とおともだちになるためのお約束ごと」を大きく2つにまとめたものです。

第1部は「海で安全に遊ぶ」、

第2部は「海をきれいにする」です。

写真：市民太陽光発電所（若松区）

■ もくじ

このガイドブックについて ……P1
第1部　楽しく・安全に海で泳ぐ・遊ぶ ……P3
海で安全に泳ぐ・遊ぶためには ……P5
離岸流① ……P7
離岸流② ……P9
マリンレジャーでの緊急連絡の仕方 ……P11

第2部　海岸での清掃活動 ……P13
海岸漂着ゴミについて知ろう ……P15
季節による漂着ゴミの動き方 ……P17
海岸清掃での注意点 ……P19

「われら海岸探偵団」活動趣旨 ……P21

第1部 楽しく・安全に海で泳ぐ・遊ぶ

夏になれば、海水浴に出かけるご家庭も
多いと思います。
海水浴は、大人から子どもまで楽しめるレジャーです。
海に入って泳いだり、砂浜で砂遊びをしたり、
楽しみがいっぱいで、
思い出づくりに最適です。

しかし海は、皆さんが思っている以上に危険な場所です。
時間毎に変化するその表情は、時として
命の危険を伴う危険が潜んでいます。
家族の大切な思い出を悲しいものにせず、
楽しい想い出にするためには、基本的なルールを知り、
それを守りましょう。

海で安全に泳ぐ・遊ぶためには

海辺では こんな「キケン」が あるよ

みなさんは、海に行ったとき、次のようなことになったり、そのような場面に出会ったことはありますか?

◎泳いでいる時に足がつっておぼれる。
◎高い波にさらわれたり、潮により沖に流される。
◎釣りをしている時、船や防波堤から海に落ちる。
◎海辺で遊んでいて、手や足にケガをする。

どうして おぼれたので しょうか?

おぼれた原因は、何だったのでしょうか?

◎泳ぐ前に、きちんと準備運動をしなかった。
◎体の具合が悪いのに、無理して泳いでしまった。
◎大人の目の届かないところで泳いでしまった。
◎休けい時間を取らずに泳いで、疲れてしまった。
◎離岸流によって沖へ流され、海岸に戻れなくなった。

水流を 甘く見ない こと

離岸流は、潮の流れで自然と発生しているものです。
程度は、マチマチですが、どんなビーチにも存在します。
ゆるやかに見えても意外と水流は強いのです。
「離岸流から逃れる方法」について次のページで説明します。

おぼれない ために

おぼれないためには、どんなことに気をつければよいのでしょうか?

◎台風や天気が悪そうなとき、風が強い、波が高い、水の流れが速いときは、海に近づかない。
◎大人と一緒に行動しよう。
◎泳ぐ前の準備運動、少しでも疲れたら休けいしよう。
◎釣りなどをして遊ぶときは、ライフジャケットを着用しよう。

大人は、必ず 子どもより 外側に!

子どもの予想外の動きに備えて、体勢を整えていよう。

保護者(大人)の方へ

毎年、全国でマリンレジャー中の事故により、多くの子どもたちが波に引き込まれたり、深みにはまったりして溺れ、亡くなっています。また、風が強い日や海が荒れている時は、海に近づかないようにしましょう。

◎悪天候の際、海へ行くのをやめましょう。せっかくの楽しい予定も、安全には代えられません。

海では、子どもたちから目を離さないことが、海での事故を防ぐ重要な予防策なのです。子どもたちを含め、自分の身は自ら守る次の「自己救命策3つの基本」の徹底をお願いいたします。

① 救命胴衣(ライフジャケット)の着用 → **水に浮くこと**
② 携帯電話の携行 → **連絡手段を持つこと**
③ 海でのもしもは、118番 → **救助を要請すること**

その他

海の危険生物に気をつけよう

◎見慣れない生物を見つけても、むやみに触ったりしないようにしましょう。海で足をケガから守るため、マリンシューズがオススメ。

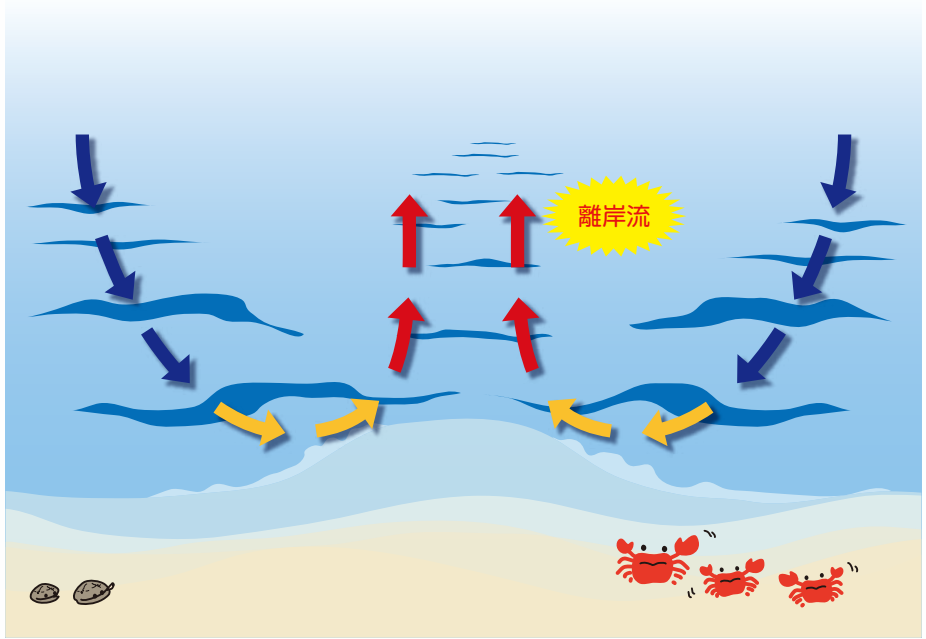
離岸流①

海の中で遊んでいたら
どんどん海岸から遠く行ってしまった
経験ありませんか?

それは離岸流(りがんりゅう)に
巻き込まれていたかも
しれません!

“離岸流(りがんりゅう)”ってなぁに?!

海の中では、“流れ”がたくさんあります。
なかでも“離岸流”は、
“岸”から“沖”に向かう強い流れのことです。
“離岸流”が発生している海岸では、水際で泳いでいる人が
沖に向かって流されてしまうため、大変危険です。



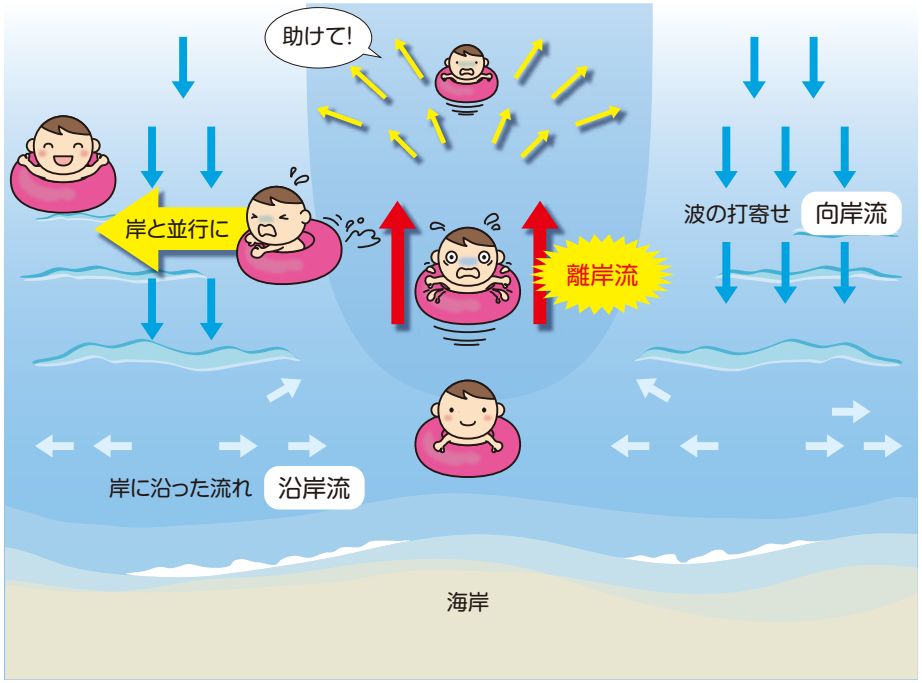
離岸流のイメージ図

離岸流②

“離岸流”に注意しよう!

“離岸流” が流れているあいだは、
岸に向かって泳いでも流れが早いため
沖に流されてしまいます。
岸にまっすぐ戻ろうとしないで、下の図のように
「岸と平行に泳ぐ」ことで抜けることができます。

オリンピック競泳選手より
速いこともあるんだって!



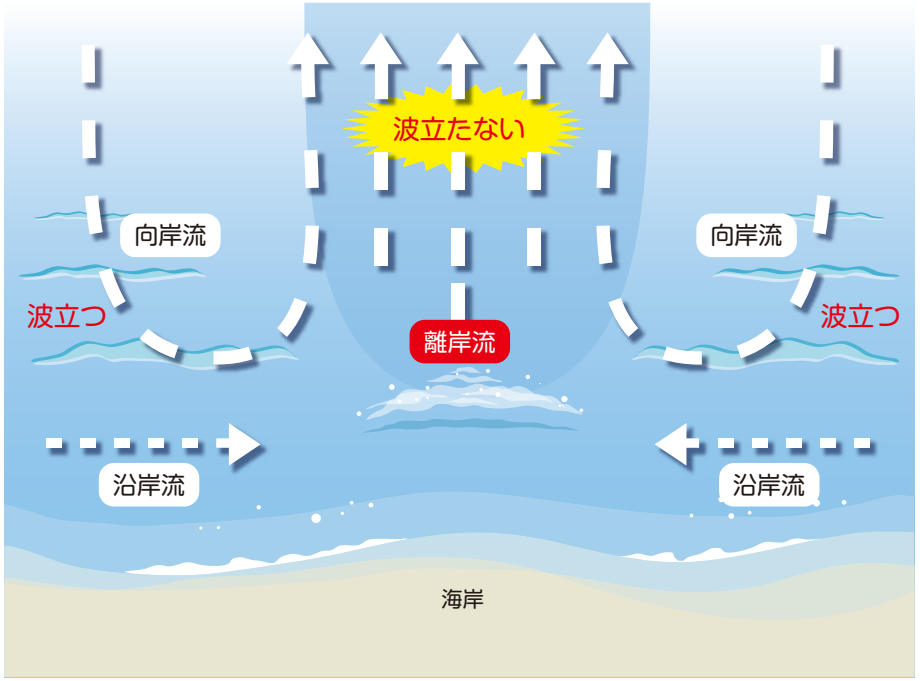
離岸流による流され方図

“離岸流”のみつけ方

“離岸流” とは、押し寄せてくる “向岸流” が岸にぶつかり、それが左右に分かれて “沿岸流” となり、向きを変え沖にむかう（陸から遠ざかる）海水の流れのことです。
実際に海岸を訪れて “離岸流” が流れている場所を見つけることは、海に慣れ親しんでいる人でも難しいことです。大人は絶対に子ども達から目を離さず、
また、一人で遊泳させないようにして下さい。

具体的な説明は動画でもご覧いただけます。右記のQRコード
もしくは、YouTube 離岸流 検索 から見れます。

日本水路協会
作成の離岸流
についての解
説映像



離岸流の仕組み図

マリンレジャーでの緊急連絡の仕方

おぼれている人を見つけたら、
どうすればよいのでしょうか?

おぼれている人を見つけたら?

◎慌てずに、近くの大人に助けを求める。
◎海なら海上保安庁の「118番」、川や池なら消防署の「119番」または警察の「110番」へ電話する。
◎安全な場所から浮くもの（ペットボトルや発砲スチロールを投げてあげよう）→おぼれている人を助けようと、水の中に入ることは絶対にしないで!

もしおぼれてしまったらどうすればよいのでしょうか?

◎慌てず落ち着いて、浮くもの（木、ペットボトル、発砲スチロールなど）やつかまる場所が近くにないかを探してみる。
◎大声を出すと、口から空気がぬけて体が沈むので、むやみに声を出さない。
◎服や靴の中に少し空気が入っていて、水に浮く手伝いをしてくれるから動きにくくても脱がない。
◎浮いていると、さがす人たちも見つけやすいので、無理に泳がずに助けを待とう。

海・水辺での緊急連絡についての確認

◎海の中での事故は、海上保安庁の「**118番**」へ。
◎川や池での事故は、消防署の「**119番**」または警察の「**110番**」へ。
◎海岸・陸上での事故は、警察の「**110番**」へ。

人身に関わる事故は、状況やケガをされた人の状態によって消防署の「**119番**」へ連絡し、救急車を要請しよう。

未来に残そう、美しく青い海。

美しく、きれいな青い海を守るために

海岸清掃も大切ですが、

まずはみんなが…。

どうして、大切なんだろう？

海岸漂着ゴミについて知ろう

海岸漂着ゴミの主な発生源

海岸漂着ゴミの主な種類

ペットボトル、ビニール袋等
生活ゴミ

竹、ヨシ、アシ、樹木等
自然ゴミ

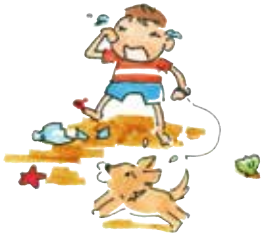
釣り具、漁網、ブイ等
漁具類

注射器等医療ゴミ、
ポリタンク類

こんなにこわい海岸漂着ゴミの影響

景観等への影響

美しい海岸の景観を失うとともに、ガラスの破片など危険なゴミによってけがをする危険性もあります。



経済活動への影響

海水浴や観光、漁業等への影響も生じています。

生物への影響

釣り糸が巻きついたり、プラスチックゴミを誤ってのみ込んだりして、死んでしまう動物がたくさんいます。

季節による漂着ゴミの動き方

季節による漂着ゴミの動き方を知りましょう。

漂着ゴミのたまり方は、海流と季節風によって違います。

このメカニズムからわかることは、季節によって

日本海側と太平洋側でゴミの漂着が違うのです。

海岸清掃での注意点

※われら海岸探偵団の場合、主催スタッフは、黄色のビブス（春・夏）／緑のジャンバー（秋・冬）を着ています。

ゴミ袋に入らないゴミ

大きなブイ（浮き球）、大物ロープ、大きな発砲スチロール

→ これらは、直接集積場へ

その他、家電や家具などの不法投棄物

→ 主催者へ連絡（その後、市町村の担当窓口へ連絡）

活動する時の注意（われら海岸探偵団の活動を参考にした一般的注意点）

★ 波打ち際に必要以上に近づかないでください。
★ 回収するごみは人工物だけとします。→　自然に戻るものは拾わない。
★ 中身不明の液体が入った容器などは、そのままふたを開けないで回収してく ださい。
中身の入っているスプレー缶は、袋に入れず回収場所に直接置いてください。
★ 注射針など医療廃棄物は、手でさわらず、トングでバケツに入れてください。
トングとバケツは、準備していますので、主催スタッフにお尋ねてください。
★ 回収したごみ袋はもち手をしばり、必ず指定の回収場所に置いてください。
えん堤のある場所では、えん堤の上にごみ袋を置いてください。
★ 海岸漂着ゴミは、家庭ゴミと違い、砂や塩がつき、材質も低下しているため、
リサイクルには不向きです。分別せずに、ひとつの袋に入れてください。
★ 信号弾などは爆発の危険もありますので、絶対にさわらないで、主催スタッフに知らせて
ください（発見した場合、ひとりがその場に残り、他の人に注意を促してください）。
主催スタッフが、位置を確認し、警察などの関係者に連絡して、処理してもらいます。
★ けがや事故、トラブルがあった場合、主催スタッフに知らせてください。
軽度の傷は、主催者が救急箱を準備していますので、治療を受けてください。

海岸清掃に参加する事前の準備

★ 軍手、タオル、飲み物などはご持参ください（会場では、ごみ袋をお渡しします）。
★ 履物は、長靴か運動くつをお履きください。
★ 駐車場が限られているため、乗り合わせてお越しください。渋滞しますので、
早めにお出かけください。
※上記の（　）内は、われら海岸探偵団の活動の場合

危険なものの取り扱い

●注射器などの医療器具

注射針などが刺さると、ばい菌に感染することもあるので危険です。
主催スタッフに通報し、スタッフの指示に従って袋を別にします。

●動物の死がい

クラゲなど死んでいても、毒が残っている場合があるので、
触れると手が腫れたりして危険です。直接手で触らないようにしよう。

●ガラスの破片

触ると怪我をしたりするので危険です。

●液体入りポリタンクや液体入りペットボトルなどの容器

薬剤などが残っていると肌に触れて炎症を起こしたりするので
危険です。また、絶対に臭わないでください。

●その他

容器のフタを開けない。中に残っていた薬剤でケガをすることがあります。
消化器など、日頃手に触れない物には手を触れるのは避けましょう。

「われら海岸探偵団」活動趣旨

活動趣旨

北九州市の中でも若松区は、美しい自然の海岸線を多く抱えています。そこで、この海岸を定期的に探索し、自然のすばらしさ、郷土のよさを参加者自身の肌により認識するとともに、海岸への漂着物を収集する事により、環境問題についても考える時間を持ちます。さらには、活動を通じて心同じくする仲間のネットワークを構築し、社会に貢献できる活動へと発展させます。

運営の方針

(1) 団への加入は希望があればどなたでも入団できます。
　但し、企業名、団体名での加入はご遠慮ください。
(2) 団員の清掃活動への参加は、あくまでも団員個人の自由です。
(3) 清掃活動を中止する場合は、活動日当日の午前8時に決定します。
　（確認は 事務局まで問い合わせの事。但し当日のみ）
(4) 清掃は1時間を目安に活動します。
(5) 駐車場の確保のための協力依頼、ごみ袋の手配及び
　集めたごみの収集依頼については、事務局において
　実施します。

われら海岸探偵団　事務局

〒808-0077 北九州市若松区用勺町16-28 NPO法人 まちのカルシウム工房 内
TEL.093-772-3223　FAX.093-791-3514
http://www.kaitan.link/
honebuto2011@gmail.com

活動場所　美しい自然の中で活動しています!

柏原海岸

岩屋海岸

妙見崎海岸

岩屋東海岸

脇田海岸

活動は、毎月1回行います。具体的活動日時・場所は、右のQRコードまたは、下記のURLアドレスで、ご確認ください。
URL: http://www.kaitan.link/